



新潟ときめき
生活協同組合

第1回通常総代会

開催されました

pal*system
パルシステム

6月22日(木)、新潟テルサ大会議室(新潟市中央区)で、新潟ときめき生協の第1回総代会が開催されました。総代総数101人のうち、実出席51人、委任状出席7人、書面出席36人、合計94人の出席でした。

まず、議長に内田千鶴総代、宮嶋美総代が選任され、



(左) 宮嶋議長、(右) 内田議長

その後、瀬野悦子理事長のあいさつ。



瀬野悦子理事長

そしてパルシステム生活協同組合連合会の吉中由紀副理事長、馬渡詳充執行役員、杉原学執行役員の紹介があり、代表して吉中由紀副理事長より来賓祝辞をいただきました。



パルシステム吉中副理事長

議事では、【第1号議案】2016年度事業活動報告、決算報告、損失処理案決定の件、【第2号議案】中期経営計画、2017年度事業活動計画及び予算決定の件、【第3号議案】定款及び

総代会選挙規約一部改正の件、【第5号議案】役員報酬総額決定の件、【第6号議案】議案決議効力発生の件を、長崎清一専務理事から一括提案。松田千代乃監事から【第1号議案】のうち監査報告が行われました。

質疑では、事前質問として、星紀子総代、尾形真理子総代、山崎佐知子総代、豊田春美総代から、当日質問として、反町嘉男総代、藤田重実総代、吉崎良咲総代、豊田春美総代から質問・意見が出され、質疑応答が行われました。

「想いを形に」

理事長 瀬野悦子

新潟の地に新しく誕生した新潟ときめき生活協同組合の第1回総代会を無事に迎えることができることを心から嬉しく思います。

昨年9月24日、何もないところから新潟の食と農を守り、新潟の地域循環に貢献する生協を作りたいと、想いを同じくした消費者・生産製造者48人が発起人となって集まり、話し合いを重ね、行動を起こし12月17日には1000人を越える賛同者を集め創立総会を開くことができました。そして、2月15日には県の認可を得て、2月20日に新潟ときめき生協が正式に誕生しました。その後、多くの壁にぶつかりながらも一つ一つ乗り越えながら6月5日に事業を開始することができました。

新しい事業をはじめるには多くの経験と知識が必要です。そして動く人がいることも大切です。が、それ以上に、声をかけ応援してくれる仲間、支えてくれる仲間、待っていてくれる仲間の存在は大きな励みになり、行動する勇気を与えてくれました。新潟ときめき生協が事業を開始できたのはそんな皆さまのおかげです。心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

さて今後は、新潟ときめき生協の事業拡大が大きな課題となってきます。「ありがたい姿」にも謳われていますが、顔の見える関係を大切に産地交流を行うことで生産製造者の想いを知り、組合員の想いを語り、ときめき生協の大切な商品を支え、守っていきましょう。

また、運営にも積極的に関わってほしいと思っています。皆さまご存じのとおり、生活協同組合は組合員が主役です。新潟ときめき生協は生産製造者も職員も組合員です。三者が交流したり、意見を交わしたり、活動を共にしたりしながら仲間づくりを進め、「ありがたい姿」の実現と事業拡大に向けて、ますます皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

文字通り、新潟のときめく未来に向かって、みんなの想いを形にしていきたいと思います。



長崎清一専務理事

その後議案ごとに採決が行われ、第1号、第2号、第3号、第5号、第6号の各議案とも、賛成多数で承認されました。



続いて【第4号議案】役員選挙の件について、野沢奈々重役員選挙管理委員長より、「全選挙区とも候補者が定数以内のため、役員選挙規約第13条第4項に従って、投票を省略し候補者全員を当選とする」旨の報告があり、拍手で承認されました。

議事終了後、第8回理事会が開催され、理事長など三役の互選や代表理事選任が行われました。

【採決結果】

採決参加総代(書面・委任含む)

: 議長を除く92人

第1号議案: 反対0人、保留1人、賛成91人

第2号議案: 反対0人、保留2人、賛成90人

第3号議案: 反対0人、保留1人、賛成91人

第5号議案: 反対0人、保留2人、賛成90人

第6号議案: 反対0人、保留0人、賛成92人



【退任理事・監事】左から、青木弘理事、布施敦子理事、松田千代乃監事(欠席)永澤由紀子理事

【新理事会構成】
理事長・代表理事 瀬野悦子
副理事長 榎並みほ
専務理事・代表理事 長崎清一
理事 上原玲子、内山房子、遠藤晶子、大横久美子、金澤ゆかり、坂井礼子、勝田厚子、馬渡詳充、安野検一、山本雄一、渡辺れい子
監事 高橋和博、田巻志保子